

## 高校生一日病院体験の取り組み

医系学生支援課  
佐田 幸江

7月30日から8月14日にかけて、高校生一日病院体験の受け入れを行いました。将来、医療従事者を目指そうと考えている高校生を対象に、県下15校から107名が参加しました。

高校生一日病院体験は、10年以上前から取り組まれている企画で、実際の医療現場を見て学ぶことを通し、参加者の皆さんの進路の参考にしてもらうこと、将来長崎の地域医療を担ってくれる医療従事者が増えることを目的として、春休みと夏休みの期間に開催しています。最初は看護師コースのみの受け入れからスタートしましたが、現在では看護師コースのほかに医師コース、薬剤師コース、リハビリコースの受け入れも行なっています。

最初に当院の簡単な説明を聞いてもらった後、それぞれの体験に入る前に放射線科や検査課、栄養課の見学をしてもらいました。普段、なかなか見ることが出来ない医療機器や医療現場の裏側の様子を、参加者の皆さんも興味津々だったようでした。また、日常的に私たちと一緒に医療活動を行なっている長崎健康友の会についても説明を行いました。実際に会員さんにもご協力頂き、友の会の活動の様子をお話いただいたり、参加者と一緒に体験に参加していただいたりしました。

毎年参加者の多い看護師コースでは、ベッドメイキングや血圧測定、車いす体験などを行いました。参加者からは「体験を通してより看護



師になりたいという気持ちが強くなった」「患者さんの背景まで診れる様な看護師になりたい」といった感想が出ていました。受け入れる側としても、参加者の皆さんのモチベーションが上がり、ますます夢に向かって頑張ろうという気持ちになってもらえることはとても嬉しいことです。今後も体験を通して、微力ながら夢の応援ができればと考えています。

## 佐世保フィールドワーク

～過去と現在(いま)から学び、  
未来のために行動しよう～

上戸町病院 研修担当 柿本 奈々

7月22日(日)上戸町病院が所属する長崎民医連と患者様や地域の方でつくる健康友の会の企画「平和の行動・佐世保フィールドワーク」に子どもと一緒に参加しました。当日は天候にも恵まれ、長崎県下より221名が参加しました。

長崎市から貸し切りバスで佐世保へ移動し、チャーターした船で佐世保港を1周します。初めて見る光景に参加者からは驚きの声が上がっていました。現地の方のガイドで約1時間、ゆっくり米軍基地や自衛隊の現状を学ぶことが出来ました。

午後からは戦跡巡りを行いました。針尾無線塔、無窮洞、浦頭引揚資料館の3か所を見学しました。過去を学ぶことで、より一層、今の平和の大切さを感じます。



私たち医療者が医療者として地域で活動出来るもの、平和であるからです。平和でなければ私たちのささやかな幸せは守ることが出来ないのです。この平和を地域の方や家族と一緒に語り合い、次の世代にも残していきたいと思いました。

## あみの目 平和行進

上戸町病院 事務次長  
新木 士朗



あみの目平和行進とは「あみの目」のように核兵器廃絶の声を響かせようと、長崎市内の主な中学校区で取り組まれており、今年で33回目を迎えます。学童保育や高校生1万人署名に取り組んでいる高校生も一緒に行進し、平和について考える機会となっています。わたしたち上戸町病院職員も例年多数の職員が参加し、事前の準備や地域への案内等含めて取り組んでいます。

今年の戸町中学校地区あみの目平和行進はダイヤモンド出発組が55名、ふくし村出発組が34名、計89

名が参加、うち上戸町病院職員は45名でした。途中沿道より激励の言葉もいただき、平和の祈りを込めて元気に行進しました。当日は天候にも恵まれ具合が悪くなる人も出ず大成功でした。出発集会、閉会集会のみの参加者も含めると全体での参加は100名超。来年は行進者でも100名の参加を目指します。

被爆から73年、今年も長崎に暮らす私たちは平和を考える夏にしなければなりません。

賛同募金にご協力いただきました地域、自治会のみなさまありがとうございました。